

## 令和元年度「英語教育実施状況調査」の結果について

### ○ 調査の概要：

文部科学省が、公立小・中・高等学校における英語教育状況について毎年調査を実施。生徒の英語力（対象生徒：中学3年生、高校3年生）に関すること、英語を使用する機会の増加に関すること、英語担当教員の英語力・指導力等に関すること、英語の授業におけるICT機器の活用状況等の項目について調査。（令和元年12月1日が調査の基準）

### (1) 生徒の英語力の状況 \*国が示す目標値 50.0% ( )は昨年度

【生徒】求められる英語力（割合）	R1	全国	全国順位	九州順位
<b>高等学校</b> CEFR A2 レベル 英検準2級以上を取得している生徒及び相当程度の英語力を有すると思われる生徒	<b>40.4%</b> (43.8%)	43.6% (40.2%)	39位 (11位)	6位 (2位)
<b>中学校</b> CEFR A1 レベル 英検3級以上を取得している生徒及び相当程度の英語力を有すると思われる生徒	<b>38.2%</b> (39.5%)	44.0% (42.6%)	31位 (24位)	5位 (4位)

\* 中学校の全国順位は、政令指定都市を除いた順位

### (2) 教員の英語力の状況 \*国が示す目標値 高校75.0%、中学：50.0%

( )は昨年度

【教員】求められる英語力（割合）	R1	全国	全国順位	九州順位
<b>高等学校</b> CEFR B2 レベル 英検準1級以上を取得している教員	<b>66.7%</b> (77.4%)	72.0% (68.2%)	34位 (15位)	7位 (4位)
<b>中学校</b> CEFR B2 レベル 英検準1級以上を取得している教員	<b>40.9%</b> (44.4%)	38.1% (36.2%)	14位 (7位)	3位 (2位)

\* 中学校の全国順位は、政令指定都市を除いた順位

### ◎今後の方針（検討事項）

#### ①生徒の資格取得促進のため受験機会の創出

受験経験者数 中学校（38.7%）3657人／9445人（調査数）

高校（49.3%）3484人／7070人（調査数）

\* 中高ともに、受験経験者数50%以下

中学生資格取得者数 2021人

高校生資格取得者数 専門科・総合学科87人・普通科2211人・国際科23人／34人

\* 高校では専門科・総合学科の受験経験者数が課題

#### ②授業評価とCEFR評価を関連付けて生徒に示すシステムの構築

授業での評価をCEFR評価化し生徒へ提示（生徒が各自の英語力を日常の授業からCEFRで把握）

⇒ 生徒の資格取得に挑戦する目標の指標